

臨床医科学

授業概要

臨床医科学の講義・演習では精神・神経関連疾患を中心にその病態、診断、治療を生体機能の面から学ぶ。最近の IT 技術を駆使した形態・機能を融合させた画像診断法や客観的機能測定法の目覚ましい発達を通して、ヒトの精神機能、高次神経機能、視機能の診療がどのように進歩しているかを実感してもらう。

担当教員

山口修平（主担当）	教授・内科学第三
堀口 淳	教授・精神医学
大平明弘	教授・眼科学

一般目標 general instructional objectives

1. 精神神経機能障害の心理・社会的背景について理解する。
2. 精神神経疾患における視機能のかかわりを理解する。
3. 中枢神経の機能的特異性を理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

1. 神経伝達物質と精神機能との関連を説明できる。
2. 視機能と神経疾患の関連を説明できる。
3. 精神神経機能異常発現のメカニズムを機能画像から説明できる。

成績評価の方法

すべての講義と演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

教育内容（講義・演習）

回	授 業 内 容	担 当
1	精神症状学における幻覚論	堀口 淳
2	脳科学における精神医学の歴史と発展	〃
3	網膜の光受容体と血管新生	大平明弘
4	視覚路の解剖と機能	〃
5	高次脳機能障害の診断と治療	山口修平
6	脳神経活動の可視化	〃
7	経頭蓋磁気刺激の基礎と応用	〃